

いたこの社会福祉 きずな

第 52 号

2020. 9.24

令和 2 年

発行責任者

社会福祉法人

潮来市社会福祉協議会

会長 根本 健助

TEL 63-1296



目の出小学校5年生児童が車いす体験を行いました。みんな真剣な表情で説明を聞いてくれています。

目次

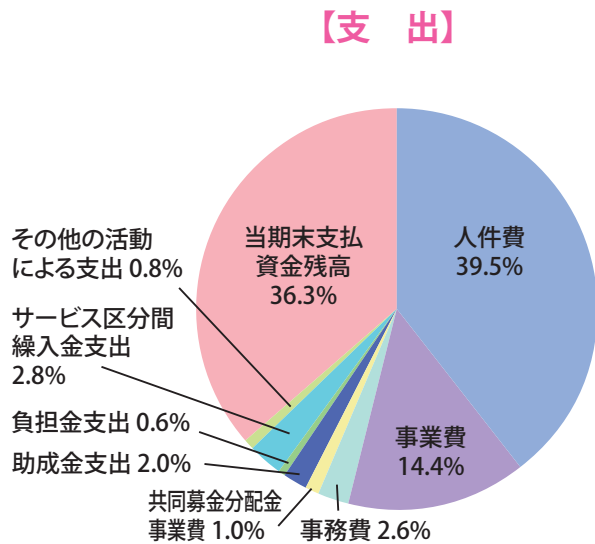
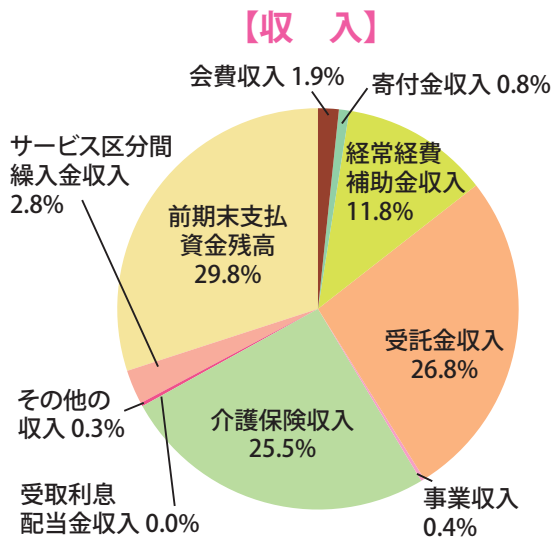
令和元年度収支決算	2P
令和2年度収支予算	2P
きずなBOXの紹介	3P
社協便り	4P
民児協コーナー	5P
ボランティアコーナー	6P
なつかしの写真館	7P
各種相談日程のお知らせなど	8P

▼潮来こども園に、きずなBOX（食品寄付箱）が出張し、寄付の協力をいただきました



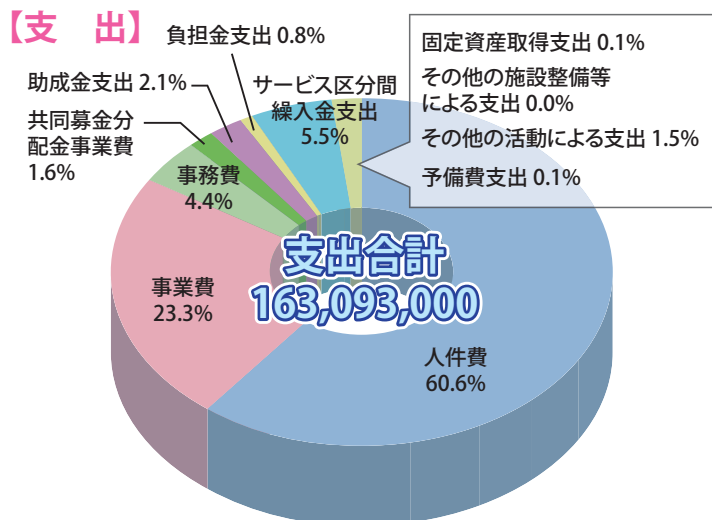
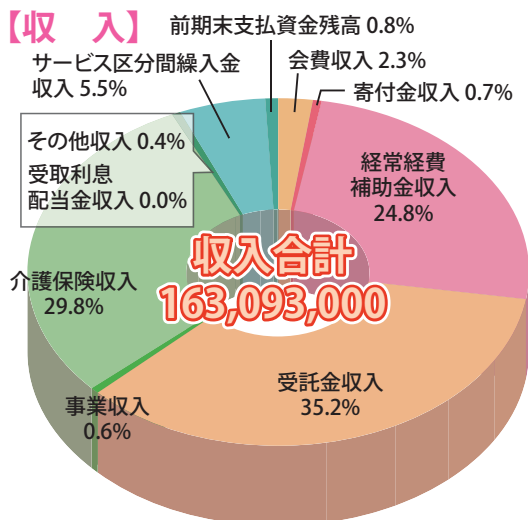
令和元年度 潮来市社会福祉協議会収支決算

収 入	円	支 出	円
会費収入	3,951,000	人件費支出	80,860,845
寄付金収入	1,671,276	事業費支出	29,536,407
経常経費補助金収入	24,127,010	事務費支出	5,268,739
受託金収入	54,834,228	共同募金配分金事業費	2,070,368
事業収入	739,568	助成金支出	4,093,118
介護保険事業収入	52,160,969	負担金支出	1,221,500
受取利息配当金収入	212	サービス区分間繰入金支出	5,801,478
その他の収入	565,653	その他の活動による支出	1,682,760
サービス区分間繰入金収入	5,801,478	当期末支払資金残高	74,304,006
前期末支払資金残高	60,987,827		
【収入合計】	204,839,221円	【支出合計】	204,839,221円



令和元年度収支決算は、令和2年6月30日評議員会にて承認されました。

令和2年度 潮来市社会福祉協議会収支予算



令和2年度収支予算は、令和2年3月30日評議員会にて議決されました。

あなたにもできる食の支援

きずなBOX

生活困窮世帯の増加、特に子供の貧困の現状について、新聞・テレビなどで目にしたことはありませんか？それは決して遠いところの出来事ではなく、私たちの身近な地域でも起こっていることです。そして、困窮状態から抜け出すための自立を支援する活動は、公的にも自主的な地域活動としてもさまざまな形で行われています。そこでポイントとなるのが命を守る食の支援です。

皆様から寄贈された食品は、食品の種類に応じて活用されます。たとえば、フードバンク茨城と地域の社会福祉協議会とが連携して進めていく「食のセーフティネット事業」の中で、生活困窮世帯の自立支援対応の一環として活用されたり、児童養護施設など福祉施設への食の支援となります。

このような食品が特に必要とされています

きずなBOX

あなたの寄付した食品で
支えられる人が
います。

寄付する食品を
このBOXに
入れてください。

ご寄付いただきたい食品

- 缶詰
- お米
- インスタントめん・パスタ、うどん、そば
- レトルト食品 など

ご寄付いただく食品は、常温保存できるもので、賞味期間が2ヶ月以上あるものをお願いします。

NPO法人 フードバンク茨城
http://sites.google.com/site/fbbaraki/
E-mail fb.baraki@gmail.com

生久水部 〒300-1221 茨城県牛久市生久水1024-1 水戸支部 〒310-0954 茨城県水戸市東町2-328
電話/FAX 029-874-3001 電話/FAX 029-231-1649

私達は「きずなBOX」を設置することで
フードバンクの活動を応援しています。

レトルト食品 インスタント食品

各種缶詰 お米 調味料

※食品は賞味期限が切れていなければ、その期限に応じて社協が活用いたします。

潮来市社協では、きずなBOXを市内の施設・団体に一定期間貸し出し、食品集めの協力をお願いしています。ご協力いただける方はご連絡ください。

▶ お問い合わせはこちら（潮来市社協） **0299-63-1296**

社会福祉大会 中止のご報告

毎年秋に開催しておりました「潮来市社会福祉大会」はコロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、中止とさせていただきます。

例年、式典で行っていた市内福祉功労者への表彰に関しましては、受賞者宅へ訪問して、その場で表彰させていただく予定です。

(昨年の大会の様子)



▲オープニングセレモニー



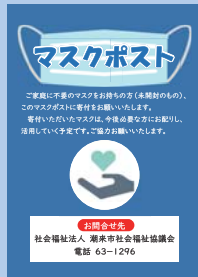
▲市内福祉功労者顕彰の様子

マスクポストによる寄付受付の報告

6月中旬から約1ヶ月間、**ショッピングラザラ・ラ・ルー**、**ベイシア**両店に未使用マスクの寄付箱を設置させていただき、合計100個の寄付を集めることができました。

設置いただきました両店舗様、寄付いただきました市民の皆様、ご協力ありがとうございました。

回収いたしましたマスクにつきましては今後、市内の高齢者や障がい者、児童施設などに対して、必要な際に配布をさせていただきます。



区長回覧による「うちわ」の配布について

8月の区長回覧にて加入世帯へ社協オリジナルうちわの配布をさせていただきました。うちわには社協の特徴的な事業の紹介や連絡先を大きくプリントしてあります。

家の見える所に置いていただき、必要な時に相談や連絡をください。



社協（潮来保健センター）の入館に際しまして

9月1日現在、社協へご相談等のため、入館された皆さまに対しまして、非接触式電子温度計にて体温測定をさせていただいております。測定された熱が37.5℃以上など明らかな体調異常が見受けられる時は、入館をお断りする場合がございます。ご了承ください。



令和2年度 共同募金運動が始まります。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

- ①赤い羽根共同募金運動 (10月1日から12月31日)
- ②職域募金 (10月1日から12月31日)
- ③歳末たすけあい募金運動 (12月1日から12月31日)



民生委員・児童委員協議会コーナー

●定例会が再開

新型コロナウイルスの影響で中止が続いていた民生委員児童委員の定例会（研修会）が、感染対策を徹底し半年ぶりにやっと開催する事ができました。8月は6地区に分かれ区長さんとの懇談会が開催されました。



そこで災害等に備えて要援護者の調査等の意見交換が行われ、地区の実情を共有することができました。

まだ活動や研修のあり方など手探り状態での再開となりましたが、話し合いを重ねながら委員一同きめ細かな活動ができるように頑張っていきたいと思っております。

●民生委員インタビュー

市内で活動中の民生委員さんにインタビューをさせていただきました。今回は協議会の副会長を務められているお一人にうかがいました。

質問① 普段はどんな活動をされていますか？

質問② 良かったことやうれしいことはありますか？

質問③ 今までの感想をお聞かせください。



明間愛子さん
(横須賀西)



井上志津江さん
(日の出2丁目)

明間 愛子 副会長

①…安否確認を中心に…その中で依頼されたことや手続きが必要なものはお手伝いをします。

②…「ありがたいです！」と助かりました！と言われた時です。

③…地域の見守り役としての役目を果たすべく、民生委員と市が相互に連携し、情報の活用を図りたいと思います。そして、心のよりどころとなる活動を目指していきたいと思えます。

井上 志津江 副会長

①…相談された事を行政につないだり、調整したり、主に一人暮らしの安否確認を中心に活動しています。

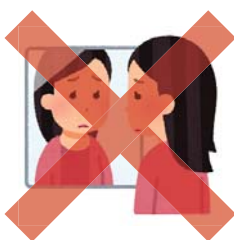
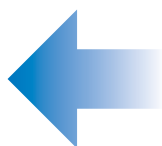
②…毎月一回の給食を配っている、とてもおいしかったとか、年に一回の遠足を楽しみと言ってくれる事が良かったと思います。

③…一喜一憂しながら、とてもやりがいのある仕事をさせていただきます。

●皆さん最近笑顔を忘れていませんか？

コロナ騒ぎや暑さで外出を控えたり、人と会って会話をすることが減ったりと色々な事を我慢していませんか？

笑う事は免疫力を高めたり脳を活性化してくれるそうです。笑顔でいると表情も明るくなり自分だけでなく周りの人も幸せな気持ちにしてくれます。一日一回鏡をのぞいて表情筋を鍛えてみてはいかがでしょうか。



ボランティアコーナー

潮来市ボランティアセンター

和田 直子 (社協理事)
横田 京子 (社協評議員)
豊野 行夫 (民生委員児童委員)
堀井 みつえ (ボランティア活動実践者)
高橋 勝弘 (社会福祉施設関係者)
磯山 侯子 (社会福祉施設関係者)
青木 薫 (関係行政機関の職員)
石田 裕二 (学識経験者)
飯島 康弘 (学識経験者)



潮来市ボランティアセンター運営委員と

コーディネーターの紹介

潮来市ボランティアセンターでコーディネーターを務めています。方波見文哉です。

ボランティアセンターは、ボランティアを志す個人や団体、ボランティアの支援を受けたい個人や団体をマッチングする役割を担っています。

そういった調整のほか、関連する講座や研修会等を通して新たな

人材の発掘・育成を行うなど、潮来市の福祉の輪を大きく広げていくよう取り組んでいます。

赤ちゃんから高齢者まで、全ての皆さんが福祉の輪の中で生活できるように、潮来市の共助の合言葉である「いっしょにたすけあうこみゆにてい」を地域全体でつくっていかねばと考えています。



【車いす体験教室が開催されました】

日の出小学校5年生の児童たちが、総合的な学習の時間で、ボランティアグループ「D-51」、「華の会」の協力のもと、車いす体験教室を行いました。

体験後、児童たちからは、「段差や坂の上り下りなどで、車いす利用者の大変さを実感した」、「困っている人がいたら声をかけて、お手伝いをしたい」などの感想が聞かれました。

今回の体験を活かしてもらい、今後困っている人がいたら一歩踏み出し、誰に対しても一声掛けられる思いやりのある子に成長してほしいと願っています。



▲体育館内に段差や坂を作って車いすで通ったり介助者になって乗り越えるお手伝いをします。

【こども園で消毒ボランティアが活躍】

消毒作業による職員の負担増が問題となっていたあやめこども園に、ボランティアとして二人の大学生が立ち上がってくれました。

ボランティアセンターに相談に見えた草野悠河さん、清水厚子さんに市内で要望のあった施設の消毒ボランティアの活動を紹介したところ、「少しでも地域貢献になれば」と、すぐに快諾ください。翌週からは二人で交代しながら、園の消毒作業に協力してくれています。

大川園長先生からは、「園の職員は長時間保育を行っており、消毒作業の時間確保が難しかった。草野さん、清水さんの助けは、本当にありがたい」と話されておりま



▲消毒ボラとして協力してくれている清水さん（手前）と草野さん（奥）

なつかしの写真館

～昔なつかしい潮来の風景～

皆さんのお住まいの地域の懐かし写真を見て、昔を思い出し回想してみませんか。
この写真で、おじいちゃん、おばあちゃんから孫へ、家族や友人との回想や団欒のひと時を
過ごしていただければとの思いです。



- ◀ 昭和30年代の前川（この頃は園部川と呼ばれていた）。川を渡り、農作業へ向かうところであろうか。舟には水車が積まれており、稲が実るまで何度も水くみの作業が行われた。

昭和30年代、秋の収穫時期で、十番地区と思われる。秋の収穫時期で、舟には発動機が積まれている。当時は町のあちこちに川が通っており、近所へ行くにも棧橋を渡って行き来をした。



- ◀ 昭和40年代のあやめまつり、遊覧船乗り場付近で順番待ちをする人々の様子。潮来駅ができたことで、当時の賑わいはたいそうなものであった。



出典『写真アルバム 鹿行の昭和』
2013年 株式会社いき出版

懐かしい潮来の写真を募集

応募方法

懐かしの写真応募については、写真を携帯カメラで撮影したものや、別紙に印刷したものなど返却しなくてもよい方法でメール添付や郵送で送付ください。

写真の選考をさせて頂き、掲載決定により改めて原本写真の依頼をご相談お願いさせていただきます。送付いただく際に①氏名 ②住所 ③連絡先 ④写真についての様子や「きずな」への感想を明記してください。掲載された方に粗品をプレゼントさせていただきます。

メール：i.shakyo@poem.ocn.ne.jp 題名に「なつかしの写真」とつけてお送りください
封筒：〒311-2421潮来市辻765 潮来市社協「きずな係」まで

社協からのお知らせ

一善意銀行預託者の紹介一 (令和2年6月1日～令和2年8月31日)

♥寄付金預託の部♥ (敬称略)		匿名	2,000円	匿名	衣類
潮来玉藻会	4,200円	匿名	2,000円	匿名	米60kg
昭和31年潮来中学校卒辰巳会	226,024円	♥物品預託の部♥ (敬称略)		匿名	米30kg、お茶3箱
匿名	2,000円	潮来高校JRC部	マスク32枚	匿名	タオル等雑貨
匿名	2,686円	匿名	米90kg		

脳トレクイズ

【問題】 AからCをつなげて出来た言葉を書いて応募してね!

1	2	3	4	5
A				
6			7	C
8			9	10
	11	12		13
14				
15		16		B
17			18	

★タテのカギ

1. 確認は、直接目で見てね
2. ラ・フランスは〇〇〇〇の一品種
3. 化学も物理も小・中学校なら?
5. 〇〇を巻く
7. 子どもが大好き〇〇とリゲーム
10. 寝巻き別の呼び方
14. 眠れない夏の夜
15. 患者を〇〇する

★ヨコのカギ

1. 一番近く。〇〇〇の駅
4. 潮来花嫁さんは〇〇でゆく
6. 弘法大師とも呼ばれる
8. 所変われば〇〇変わる
11. プナ科の常緑高木
13. 自分自身の力で今の地位を築いたと〇〇します
16. 誰かがウワサしてる?
17. 振り過ぎに注意しましょう
18. 一、十、百、千、〇?

正解者の中から抽選で10名様にLEDネックライトをプレゼント!



【応募締切】
10月30日(金)必着

前号の答えは
【き・ず・な】でした。

応募方法

①クロスワードパズルの答え②住所③氏名④年齢⑤「広報紙きずな」に関するご意見・ご感想をご記入の上、以下の住所まで官製ハガキでお申し込みください。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

〒311-2421 潮来市辻765 潮来市社会福祉協議会「きずな係」まで

各種相談の案内について

法律相談	福祉心配ごと相談
10月21日(水)	10月7日(水)
11月18日(水)	11月4日(水)
12月16日(水)	12月2日(水)

場 所: 潮来市社会福祉協議会

時 間: 1組30分、6組まで

料 金: 無料

内 容: 財産問題、土地売買、金銭貸借、境界線問題、災害等

※各種相談とも事前予約制となっております。空き状況はお問い合わせください

【潮来高校よりマスクの寄付】

潮来高校JRC部から手作りマスクの寄付がありました。学校内でマスク作りの講習会が行われたことをきっかけに「コロナ禍で困っている高齢者や小中学生に届けたい」と制作にあたってくれたとの事。

部活動のほか自宅でも製作を続けてくださったの事で、寄付いただいたマスクは有効に活用させていただきたいと思います。



編集後記

亜熱帯のような暑さはやっと過ぎましたが、身近な外出にも常に窮屈さがつきまとう毎日です。あの頃は大変でしたねと笑いながら会話できる日の訪れはいつになるのでしょうか。

さて、今号は、「きずなBOX」の紹介や、民生委員児童委員の皆さんへのインタビュー、ボランティアの方々の様々な活動状況を紹介致しました。前号の脳トレクイズでは、多くの皆さんに御応募をいただきました。また「回想法の写真が懐かしかった。」「フレイルの予防法が役に立ちます。」等、貴重なご意見もありがとうございました。今後もより多くの皆さんに読んでいただける広報誌作りに努めてまいりたいと思います。

広報委員

委員長	森山健吾
委員	小沼由紀子
	小野玲子
	山口よしえ
	和田直子
事務局	高塚尚子
	野口貴広